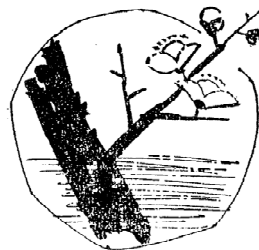


# 農業



平成28年3月号  
会誌 No. 1610

## 目次

### 巻頭言

先人に憧れて……………五月女 昌巳 3

### 論壇

表と裏……………難波 成任 4

### 秋期中央農事講演会

米と日本の食文化……………原田 信男 6  
質疑応答……………23

### 大日本農会秋田支会活動報告

いま、秋田の農業をどう拓くかⅥ……………27  
-土の力を活かす技で未来を拓く-  
Ⅰ 解題「食料争奪」時代を持続・循環・協同の力で生き抜く」…佐藤 了 27  
Ⅱ 食料の安定供給に欠かせない「土」とそれを活かす技術  
とは何か……………金田 吉弘 28  
-水田の土を例として-  
Ⅲ 農地と水を扱う生産基盤技術の未来について……………高橋 順二 33  
Ⅳ 農業機械-重労働からの解放から高品質・多収の実現へ-…矢治 幸夫 36  
Ⅴ パネルディスカッション ～土の力を活かす技術で未来を拓く～……………40

### 農業関係予算情報

平成28年度農業関係予算の概要……………編集部 47

**農業・農村の現場から**

農村女性たちの活動を多様な若い力がサポート……………澤野 久美 60  
- 静岡県浜松市 NPO 法人夢未来くんま -

**世界の農業は今**

ベトナムにおける農業と植物遺伝資源研究……………江花 薫子 65  
TRAN Thi Thu Hoai

**私の経営と志**

夢では終わらせない夢がある……………豊福 祥旗 71

**東京農業大学収穫祭から (第3回)**

日タイ間におけるフォーディングを……………農友会 海外移住研究部 73  
利用した農産物の輸出入の現状

**農政情報**

…………… 79  
大日本農会だより…………… 80

**ミニ情報**

「東日本大震災における農林水産関係の被害」…………… 70

**表紙写真説明**

**サトウキビの将来を担うケーンハーベスタ(鹿児島県徳之島)**

ざわわ、と表現されるサトウキビ畑。冬には白銀の穂が出て美しい光景が島中に広がる。冬から春にかけてがサトウキビ収穫期。製糖工場周辺ではいつも甘い香りが漂う。サトウキビは1本がおよそ1kg、それが10aで8,000本程度。サトウキビの収穫作業と言えば、農業における重労働の代表格であろう。1本1本刈り倒し、葉を剥ぎ、束にまとめ、肩にかついで畑から持ち出す。確かに、肉体を酷使する仕事であった。しかし、今、その人手による収穫作業を見ることは本当に珍しい。

現在、徳之島では、収穫量の92%をケーンハーベスタ Sugarcane Harvester で収穫する。重さ6tのハーベスタが10aをわずか2時間程度で収穫する。もちろん作業料金は発生するが、将来、手収穫に戻ることは考えられない。大きくて重いケーンハーベスタはサトウキビの収穫作業を担うのと同時に、島のサトウキビの将来も支えている。

(鹿児島県徳之島伊仙町 佐藤光徳)